

農林水産省登録 第23428号 ユニゾン水和剤  
 農林水産省登録 第23429号 理研ユニゾン水和剤  
 有効成分 ペンチオピラド 4.25%  
 マンゼブ 65.0%  
 人畜毒性 普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

適用病害および雑草と使用方法

2014年2月12日付登録内容

作物名	適用病害名 及び雑草名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ペンチオピラドを含む 農薬の総使用回数	マンゼブを含む 農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	藻類	167倍 (薬量 として 3g/m <sup>2</sup> )	0.5L/m <sup>2</sup>	藻類 発生初期	3回以内	散布	8回以内	3回以内
	葉腐病(ブラウンパッチ) 炭疽病 ダラスポット病			発病初期				
日本芝	カーブラリア葉枯病							

芝への安全性

ベントグラスに対する影響 (株式会社理研グリーン  
グリーン研究所圃場試験より)

薬剤 散布日	薬量(g/m <sup>2</sup> )	水量(L/m <sup>2</sup> )	薬害症状の有無(調査日)			
			6/15	6/25	7/2	7/9
2012年 6月5日	3(実用量)	0.5	無	無	無	無
	6(2倍量)	0.5	無	無	無	無
	無処理		無	無	無	無

コウライシバに対する影響 (株式会社理研グリーン  
グリーン研究所圃場試験より)

薬剤 散布日	薬量(g/m <sup>2</sup> )	水量(L/m <sup>2</sup> )	薬害症状の有無(調査日)			
			6/11	6/20	7/2	7/9
2012年 5月23日	3(実用量)	0.5	無	無	無	無
	6(2倍量)	0.5	無	無	無	無
	無処理		無	無	無	無

使用上の注意事項

- 効果・薬害等の注意**
- ① 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
  - ② 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
  - ③ 西洋芝(ベントグラス)に使用する場合は次の事項に注意してください。
    - ・藻類が著しく繁茂した状態では効果が劣ることがあるので、時期を失しないように散布してください。
    - ・夏期高温時に連用散布すると、黄変などの薬害が生ずるおそれがあるので注意してください。
  - ④ 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
  - ⑤ 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

**安全使用上の注意**

- ① 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ② 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

- ③ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- ④ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ⑤ かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。
- ⑥ 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

**魚毒性**

- ① 水産動植物(魚類、藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- ② 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保管**

- ① 湿気を吸うと分解して効力が低下するので、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。また、食品と区別してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本印刷物は2014年4月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています。

新発売



響きあふ2つの効果で、藻類と病害をシャットアウト。

ユニゾン  
水和剤

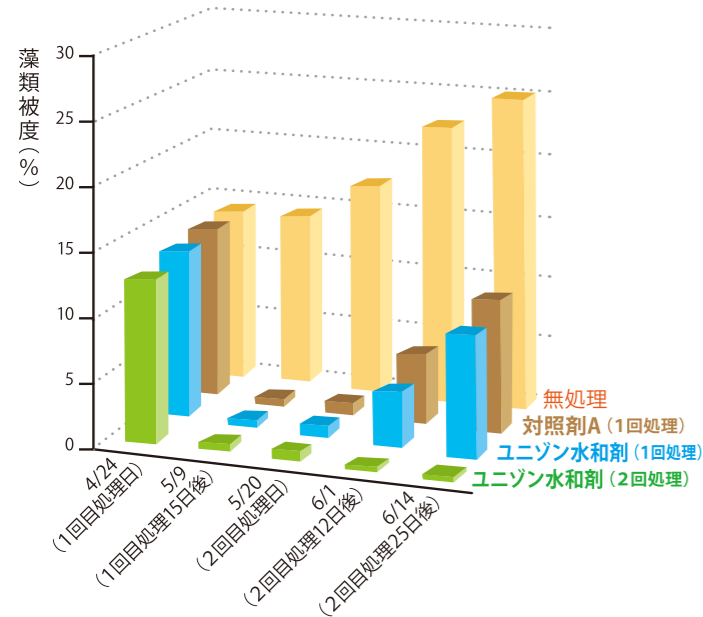
## ユニゾン水和剤の特長

- 1 藻類とグリーンの重要病害を同時に防除**  
やっかいな藻類と病害（炭疽病、ブラウンパッチなど）をまとめて防除可能です。
- 2 作用性が異なる2成分の組み合わせで耐性菌対策**  
異なる2つの成分が作用するため、耐性菌出現のリスクが少なくローテーション散布に適します。
- 3 芝に対する安全性**  
ベントグラスやコウライシバに対する影響が少ないことが確認されています。

## 藻類に対する防除効果

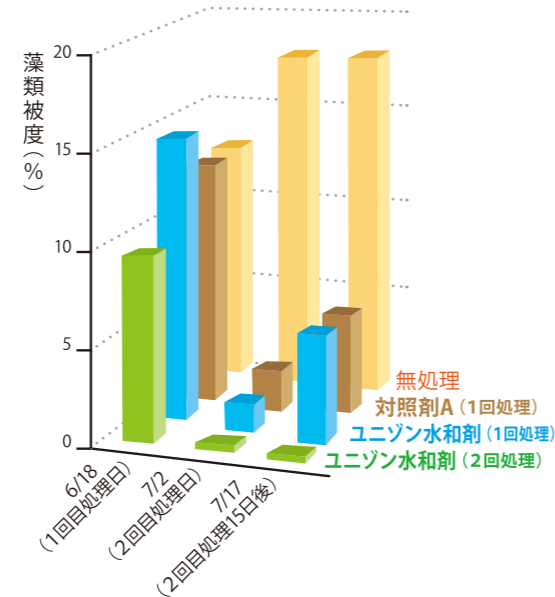
### 日植調委託試験（2012年度）①

**試験場所** 静岡県ゴルフ場協会（静岡県Aゴルフ場）  
ベントグラスナーセリー（品種：ペンクロス）  
**薬剤処理日** 1回目処理4/24、2回目処理5/20  
**使用薬剤** ユニゾン水和剤：3g/m<sup>2</sup>  
対照剤A：2g/m<sup>2</sup>  
**調査方法** 各試験区内のラン藻類発生被度を調査した。



### 日植調委託試験（2012年度）②

**試験場所** 東日本グリーン研究所（山梨県Bゴルフ場）  
ベントグラスナーセリー（品種：ペンクロス）  
**薬剤処理日** 1回目処理6/18、2回目処理7/2  
**使用薬剤** ユニゾン水和剤：3g/m<sup>2</sup>  
対照剤A：2g/m<sup>2</sup>  
**調査方法** 各試験区内のラン藻類発生被度を調査した。



## ユニゾン水和剤のラン藻類に対する防除効果（処理15日後） フォルミジウム属 *Phormidium sp.*

**試験場所** 株式会社理研グリーン  
グリーン研究所  
ベントグラス圃場（ペンクロス）  
**薬剤処理日** 2012年6月10日（発生初期）  
**調査日** 2012年6月25日（処理15日後）

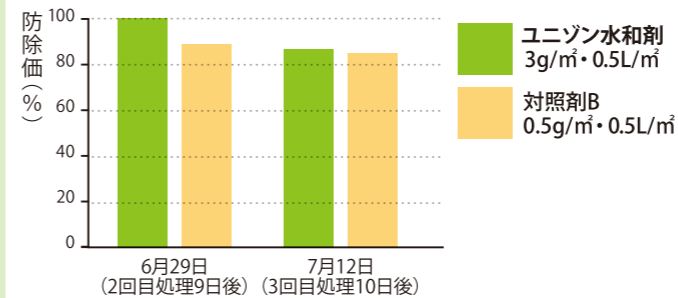


## 各種病害に対する防除効果

### ブラウンパッチ

2012年度 日植防委託試験

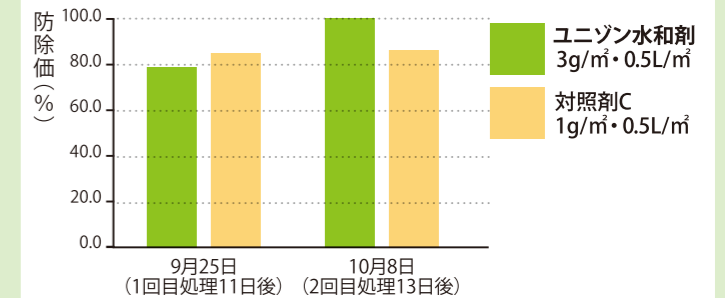
**試験場所** 西日本グリーン研究所試験圃場  
ベントグラスグリーン様管理  
（品種：ペンクロス）  
**発生状況** 中発生  
**薬剤処理日** 1回目処理6/11、2回目処理6/20、3回目処理7/2  
**調査方法** 試験区内の発病面積を測定した。



### 炭疽病

2012年度 日植防委託試験

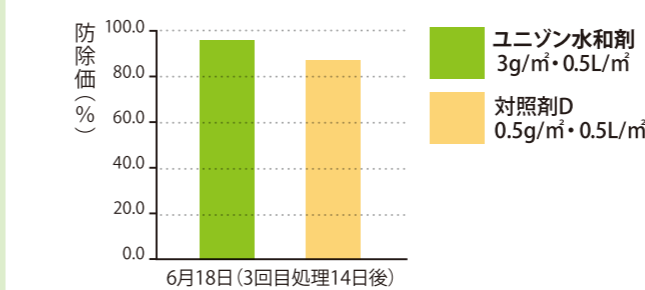
**試験場所** 西日本グリーン研究所（福岡県Cゴルフ場）  
ベントグラスナーセリー  
（品種：ペンクロス）  
**発生状況** 中発生  
**薬剤処理日** 1回目処理9/14、2回目処理9/25  
**調査方法** 試験区内の発病面積率を測定した。



### ダラスポット病

2012年度 日植防委託試験

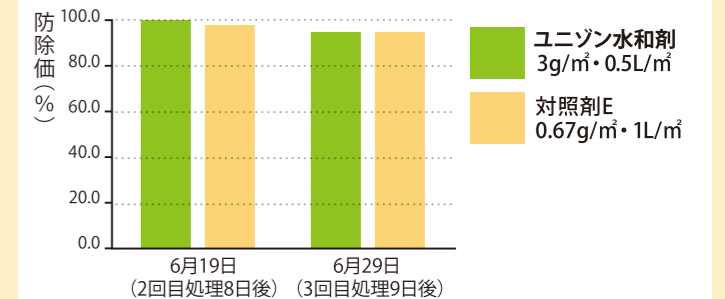
**試験場所** 関西グリーン研究所内圃場  
ベントグラスグリーン様管理  
（品種：ペンクロス）  
**発生状況** 中～多発生  
**薬剤処理日** 1回目処理5/7、2回目処理5/21、3回目処理6/4  
**調査方法** 試験区内のスポット数と大きさから罹病面積を測定した。



### カーブラリア葉枯病

2012年度 日植防委託試験

**試験場所** 西日本グリーン研究所試験圃場  
（コウライシバ、グリーン様管理）  
**発生状況** 多発生  
**薬剤処理日** 1回目処理6/1、2回目処理6/11、3回目処理6/20  
**調査方法** 試験区内の発病面積を測定した。



## 上手な使い方

- ・藻類および各種病害の発生（発病）前から初期にかけての使用が最も効果的かつグリーンの安全性も高まります。
- ・1回処理でも高い殺藻効果を発揮しますが、2～3回の反復によりさらに長い期間藻類を抑制します。
- ・各種病害に対しては予防効果に加え、菌糸伸長阻害作用による治療効果も期待できます。

藻類に対しては予防～発生初期の散布が効果的です。

春から秋まで使用でき、重要病害も幅広くカバーできます。

